

招魂社探訪

第3回

結城市の招魂社その一 戦没者慰霊殿

この度の招魂社探訪では結城市大字結城に鎮座する健田須賀神社の境内に建立する戦没者慰霊殿を御紹介いたします。



健田須賀神社は明治三年に健田神社(御祭神:武淳川別命)、須賀神社(須佐之男命)を合祀して建立された神社です。健田神社は式内社として、須賀神社は結城家初代朝光公によって建立され結城の産土神として両社とも厚く信仰されました。戦時中は健田須賀神社で武運長久を祈念する様子が記録に残されています。

健田須賀神社宮司 小貫隆嗣様、
結城市遺族連合会会長 柿野谷進一様

のご協力を頂きました。
誠に有難うございます。



戦没者慰霊殿

戦没者慰霊殿

■鎮座地

〒307-0001 結城市大字結城一九五番地
健田須賀神社内

■柱数

大東亜戦争における結城市出身の戦没者千二百十三柱

■例祭日

八月十五日(に近い土日など)

■設計

日本建築工芸設計事務所

■施工

有限会社結城木工品製作所

■由緒

結城市遺族連合会また全市民の総意として昭和三十三年九月建立。大東亜戦争における結城市出身の戦没者千二百十三柱を祀る。なお、結城市の戦没者千二百十三人は県内で四番目に多い数である。

昭和五十四年(昭和五十六年、当時健田須賀神社に併設されていた中央公民館において、結城市主催の慰霊祭が神仏合同で行われ、五百人の参列があった。昭和五十七年以降市主催の慰霊祭は、「結城市戦没者追悼式」として「結城市民文化センター」で行われ、例年三百人の参加がある。

結城市遺族連合会主催の慰霊祭としては、昭和五十四年から毎年八月十五日近辺の土日に行われ、同会役員四十人ほど



が参列する。

建立当時は戦没者の妻(結城市遺族連合会婦人部)が中心となり清掃奉仕が行われ、ニューギニア会など戦友・遺族会の参拝があった。現在は戦没者の子や孫の世代が主流となる結城市遺族連合会が祭典前などに清掃奉仕を行っている。

また健田須賀神社小貫宮司の兼務されている大桑神社(結城市小森)、香取神社(結城市鹿窪)、香取神社(結城市中)の三社には日露戦争(大東亜戦争)に至る地区出身者の慰霊碑が建立され、現在でも慰霊祭が斎行されている。

尚、三社については次号「結城市の招魂社」にて触れさせていただきます。

英魂無窮之碑

茨城縣護國神社宮司 皆川泰書



第三回

創成期の御英霊

鵜飼吉左衛門智信命

安政六年己未八月二十七日幕命ニ 因り江戸傳馬町獄舎ニ於テ斬罪
大番組列京都藩邸留主居役

※鎮靈社祭祀人名簿原文のまま記載

吉左衛門は寛政十年二月十二日、尾張国中島郡小信中島村(現・一宮市)頓聴寺住職・鵜飼真教の次男として生まれ、後に水戸藩士で叔父の鵜飼知盛の養子になった。幼名は菊三郎。

水戸藩主・徳川斉昭に仕え、『大日本史』編纂に従事する。弘化元年、幕命により斉昭に隠居謹慎命令が下ると、参議橋本実麗に斉昭の有免を訴える書を呈するなど、京都にてその復帰運動に奔走したために処罰される。嘉永六年、斉昭の幕政参与に伴い吉左衛門も藩政に復帰し、水戸藩京都留守居役に就任。

安政五年に入ると、斉昭の命を受け上京した水戸藩家老・安島帯刀、同藩奥祐筆茅根伊予之介、同



鵜飼吉左衛門像

藩勘定奉行鮎沢伊太夫らと共に日米修好通商条約締結勅許打診に反対して廷臣八十八卿列参事件を画策するなど、徳川慶喜の擁立を図る。時の孝明天皇からの戊午の密勅降下に際しては、持病の悪化のため、それを子の幸吉に託して江戸小石川の水戸藩邸にあった徳川慶篤のもとに運ばせた。後に、幕府を介さず直接水戸藩に下されたこの密勅の形式が問題となり京都西町奉行所に呼び出しに応じ出頭したところ、幸吉とともに捕縛され、これを契機に安政の大獄が始まった。

捕縛後、吉左衛門は六角獄舎に繋がれ、石抱三枚の刑等の苛烈な拷問を受け、歩行もままならぬ状態であったという。

同年十二月五日に江戸送致後、三田藩預かりとなり、安政六年八月二十七日未明に安島帯刀や水戸藩奥右筆・茅根伊予之介、子の幸吉と共に伝馬町の獄舎内にて死罪に処された。享年六十一。

なお、死に臨み、吉左衛門は幕吏に「一死もとり覚悟の上。唯心に掛かるは主君(徳川斉昭)の安危なり」と尋ね、恙無きやを知ると、従容として死に就いたという。

鵜飼父子の遺骸は、その家僕が乞食に変装して刑場に忍び込み、郷里に持ち帰ったと伝えられている。

死後、父子ともに和宮降嫁時に赦免となる。墓所は茨城県水戸市常磐共有墓地、東京都荒川区南千住回向院、京都市長楽寺、同市徳円寺。位階は贈従四位。

鵜飼幸吉知明命

安政六年己未八月二十七日幕命ニ 因り江戸傳馬町獄舎ニ於テ斬罪
小十人列京都藩邸留主居助役

※鎮靈社祭祀人名簿原文のまま記載



鵜飼親子の墓

幸吉は文政十一年、水戸藩士鵜飼吉左衛門の次男として生を受ける。諱は最初は知好、後に知明と改名。幼名は菊次郎。安政三年に京都留守居役手添に抜擢され上洛、翌年には京都留守居役助役となった。

戊午の密勅が幕府と水戸藩に出されると、病床の父に代わって密使として小瀬伝左衛門と変名し、夜半に乗じて東海道を東下し、江戸の藩邸に密勅を届けた。藩主・徳川慶篤は沐浴し、謹んでこれを拝受した。「水戸内勅」とも言う。

老中間部詮勝が上洛して安政の大獄が始まると、父とともに捕縛されて京の六角獄舎に投じられ、江戸に檻送となり高田藩邸に拘禁される。

安政六年、戊午の密勅降下への斉昭の関与を一貫して否認し続けた幸吉は、評定所にて安政の大獄の中では最重刑である獄門の申し渡しを受け、伝馬町牢屋敷にて斬首、小塚原刑場で梟首された。享年三十二。また父も同時に斬首となった。小塚原で梟首中、夜半に何者かが侵入し、『大日本忠臣首級』と書いた紙を梟首台に貼り付けたという。墓所は茨城県水戸市の常磐共有墓地、東京都荒川区南千住の回向院、京都市長楽寺、同市徳円寺。位階は贈従四位。

敬

神女性の会

活動報告

桜の季節にあわせて
境内で甘酒を頒布しました。
本年は青天に恵まれた
春の麗らかな陽気のなか
お花見に来る参拝者が
大勢見られ、
大盛況となりました。



会員募集

皆様の御入会を
お待ちしております

- ◇年会費 一、〇〇〇円
- ◇活動内容 大祭奉仕
月次祭・各種祭典の参列
御垣内清掃奉仕
講習会・研修会等

茨城県護國神社内 事務局
水戸市見川一―二―一
TEL 〇二九―二四―一四七八―
FAX 〇二九―二九七―八三三二

特

攻戦没者 慰霊顕彰会

(財)特攻戦没者慰霊顕彰会より
「特攻勇士像」が奉納された事を
受け年一度の慰霊祭を
斎行する事を目的とし
平成三十年に設立されました。



会員募集

御入会希望の方は
事務局までお問い合わせください

茨城県護國神社内 事務局
水戸市見川一―二―一
TEL 〇二九―二四―一四七八―
FAX 〇二九―二九七―八三三二

崇

敬奉賛会

- 1 昇殿参拝
- 2 記念品の贈呈
- 3 社報の送付
- 4 祭典案内
- 5 各種行事の
ご案内
- 6 大祭案内
- 7 紙札頒布

会員募集

皆様の御入会を
お待ちしております

茨城県護國神社内 事務局
水戸市見川一―二―一
TEL 〇二九―二四―一四七八―
FAX 〇二九―二九七―八三三二

特集

狛犬のはなし

狛犬とは邪を退け、神前守護の意味をもつとされる神社社殿前や参道などに置かれた二対の獅子形の像です。高麗犬、胡麻犬と表記されることもあります。材質は石が多く見られますが、銅、鉄、木、陶製のものも在ります。

当社の狛犬は二方が口を開け、他方が閉じる、いわゆる「阿吽」の二対で稲田石で作られています。稲田石は茨城県が誇る銘石で白御影と呼ばれる花崗岩です。「白い貴婦人」とも称されます。

社報四号で昭和十六年の櫻山遷座にふれて県民総意の大事業として御社殿を始め参道、大鳥居と作られたことはわかっていましたが、通常見られる施工名等が一切彫られていません。しかし遷座から八十年を過ぎ震災等数多の災害を乗り越えてなお護国神社の石組みは、ほぼ狂うことなく石垣や鳥居は御英霊を護り参道は御遺族、参拝者を迎えております。

今回、神前奉納行事の打合せで小笠原流弓術の高弟猪野嘉久先生とお話をさせて頂く機会があり、思いがけず狛犬をはじめ石工事の事を伺うことが出来ました。

猪野先生の著書に『弓道範士 中野慶吉』が

ります。中野慶吉翁は日本橋や国会議事堂の石工事で知られる中野組を率い、昭和三十九年の東京オリンピックでは古式による「幕目」を披露された日本弓道の中興の祖ともいえる茨城県を代表する偉人の一人です。

その著書の中で中野慶吉翁の話として、内務省から狛犬制作を依頼された事が書かれています。

内務省の角南隆建築技官、陸軍の林洗十郎大將や水戸歩兵第二連隊長から「狛犬は英霊を守護するものだから、ぜひ阿吽の呼吸の意を考えて制作して下さい。」と言われ厳しい指導を受けたとあります。

翁は石匠の福井栄三郎氏と各地の狛犬を見て歩き精魂を込め昭和十八年に制作完成「茨城県護国神社の狛犬は、英霊を守護する場に相応しい物だよ。ぜひ見ておいてくれ。」と言われていたそうです。福井栄三郎氏は国会議事堂の壁面彫刻等を手掛けた石匠でもあります。

日々のお掃除を神前から始めて階段を降り最後に大鳥居まで到達し振り返ると狛犬と目が合います。厳しい表情の狛犬ですが、何故か優しく「お疲れさま。」と言われている気がして、足を撫でてから社務所に戻るのが日課です。



狛犬 阿形



狛犬 吽形